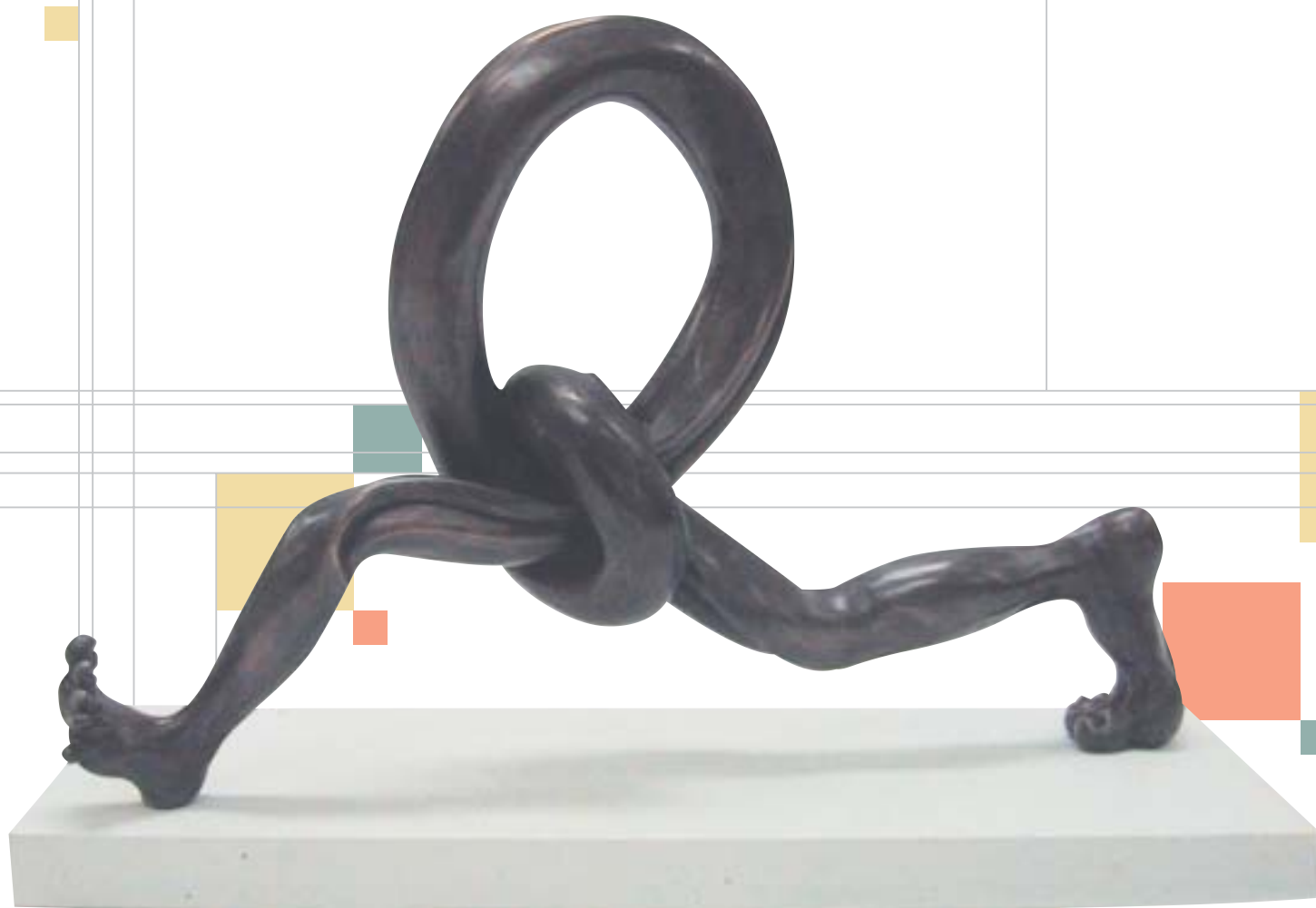


金沢まちなか彫刻 設置基本方針

金沢市



走れ! (郡 順治)

金沢まちなか彫刻設置 基本方針とは？

まちにアートを感じ、魅力あふれる都市空間を創出するためには、
※パブリックアートとしてのまちなか彫刻の設置を進めることが必要ですが、
現状では、次のような問題点が見られます。

※パブリックアート…公共的な空間に設置された芸術作品（アート）の意味で、公共空間の魅力を高めることを期待して設置されるものをいいます。

1 パブリックアートの 全体像の把握が困難

ほとんどの作品は、任意に設置されるため、
設置のコンセプトや全体像が
把握しにくい状況にあります。

5 施設配置 スペースとの不調和

建物竣工記念作品の設置や寄贈作品など、
施設の配置計画やスペースと
調和がとれていない設置例が見られます。

2 中心市街地の 集積作品の現況

中心市街地において、
エリアごとのコンセプトがなく、
単に作品が集積設置されている印象が
感じられます。

6 設置場所

作品が目につきにくい場所に設置され
市民に知られていない場合もあります。

3 環境や景観との不調和

作品として設置されると、移設や撤去が
困難なことから、時代を経るごとに
作品数が増え、環境や景観との不調和が
生じる例が見られます。

7 保守管理

作品と周辺の保守管理が十分とは言えず、
作品の劣化や汚れが懸念されます。
また、植栽の陰になり、
作品が見えにくい場合があります。

4 環境の変化や時代感覚に そぐわない状況

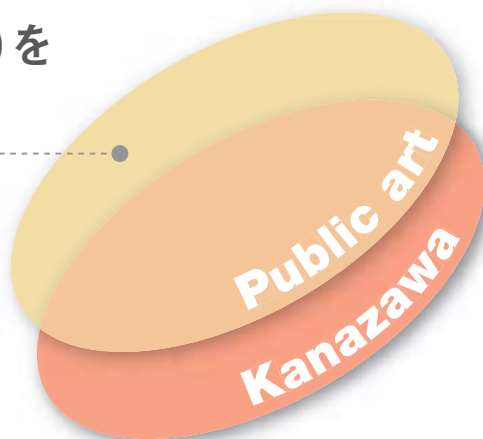
時代の進展に伴い、作品が、
都市のスケール感、時代感覚に合わない
ものが見られます。

こうした問題点を踏まえ、“金沢まちなか彫刻設置基本方針”は、
今後のまちなか彫刻をどのような方向性で取り組むべきかの基本的な考え方を
示したもので、金沢まちなか彫刻設置検討委員会で検討後、平成17年4月、
市の方針として定められました。

金沢まちなか彫刻設置の基本理念

金沢のまちの魅力に アート(彫刻)のレイヤー(層)を 重ね合わせる

これまでの歴史の中で、時間をかけて
形成され、培われてきた「用水・みち筋」
「こまちなみ」「斜面緑地」「寺社風景」など、
金沢の重層的な「まち」の魅力に
「彫刻=パブリックアート」という
魅力を重ね合わせます。



金沢の個性を磨き高め
風格あるまちづくりと美しい景観形成に
まちなか彫刻が厚みを加えていく



FUGA
(阿部 守)



三文家像
(米林 勝二、得能 節朗、山瀬 晋吾)



The Sundial
(B・ストゥージク)



終わりのなきコンチェルト
(村井 良樹)



意志の門
(中川 洋)

金沢まちなか彫刻設置基本方針

1

環境に ふさわしい 彫刻作品の設置

作品を設置するのにふさわしい環境、場所、景観などとの調和を重視していきます。

このため、“金沢のまちを美術館”に見立て、「※企画展示」+「常設展示」という視点で、周辺環境に適応した彫刻設置のあり方を検討します。

※「企画展示型」設置…原則10年ごとに作品について見直しを図り、環境との調和を確認の上、良好であれば継続展示し、不調和が生じている場合には、作品にとってより良い設置環境に移設を図る設置方法

2

新設作品の 設置のあり方

金沢市まちなか彫刻設置委員会（平成17年7月設置）において、作品の設置場所・テーマ、作品設置手続き、作品設置者による良好な維持管理などを検討します。

3

既存作品の 再構成の あり方

パブリックアートの再構成によって新たな街の魅力がうまれることを地域の人々に理解いただき、周辺環境と不調和が見られる作品については、金沢市まちなか彫刻設置委員会において、作品の再構成や見直しを検討します。

実現化へ向けて

実現化への基本的な考え方及び個別事例の検証

新しい彫刻作品の設置については、本方針基準に従うものとします。

既存作品の再構成や見直しにおける作品の入替、移設は、設置の経緯や関係者の意見を大切にしながら進めます。

また、本方針の実現化に向けては、関係者との合意形成や実現可能性などを十分に勘案しながら、段階的かつ着実な取り組みを進めます。

なお、基本方針の対象は、公共用地に設置されるパブリックアートとしますが、私有地についても、本方針に準拠していくことが望まれます。

4

彫刻のある まちづくりの 重点的な推進

中心市街地において、彫刻のあるまちづくりを重点的に進めます。
具体的には、※**アート・アベニュー**と※**兼六園周辺文化ゾーン**を『アート回廊』、『アートの舞台』と位置づけ、散策しながら彫刻を楽しめる環境を整備し、回遊性向上を図ります。
また、回遊路の連続性確保のため、アート・アベニューと兼六園周辺文化ゾーンを「点」から「線」につなぐ新しい展示スペースの確保を検討します。

※**アート・アベニュー**……金沢駅から武蔵ヶ辻、香林坊を経て金沢21世紀美術館に至るメインストリート
※**兼六園周辺文化**……金沢城、兼六園周辺地区

5

世界に開かれた 公募参加方式の 彫刻設置

国際的な公募参加方式による彫刻の企画展示を検討します。
具体的には、世界の芸術家が作品発表できる場と機会の提供、時代と共に更新を続ける魅力的作品の入替展示等を検討します。

6

市民に親しまれる 彫刻愛護の推進

文化・芸術活動においては、市民が中心となって活動を推進していくことが望ましく、パブリックアートの再構成やその後の関わりについても、市民参加のあり方を検討します。

彫刻のあるまちづくり施策の推進

金沢市は、彫刻作品の国際コンペの開催やオフィスのショーウィンドウを活用した彫刻の展示、金沢美術工芸大学・金沢21世紀美術館と連携したアート関連施策の推進、まちなか彫刻見て歩きマップの作成等を通じて、市民に親しまれるパブリックアートを推進します。



CORPUS MINOR #1
(J・K・ヴィルックネン)

金沢市 都市政策局 総合調整課

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1

TEL 076-220-2032 FAX 076-264-2535

e-mail : chousei@city.kanazawa.ishikawa.jp